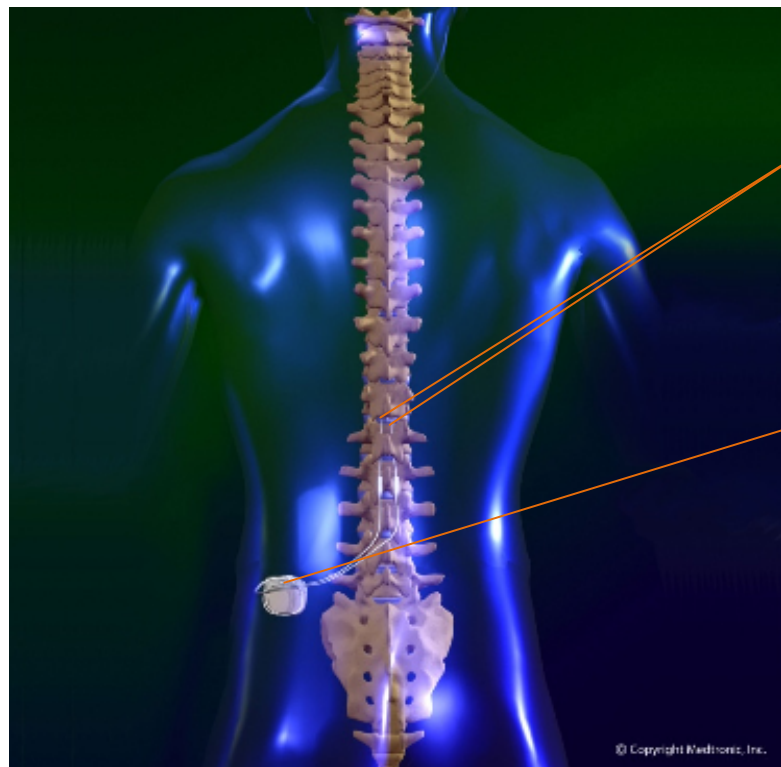


SCS(脊髄刺激療法)

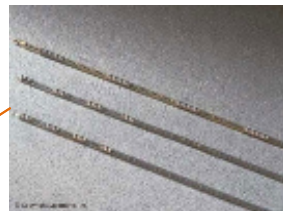
お問い合わせは
貝塚病院 痛み外来
TEL 092-632-3333
FAX 092-632-2230

SCSとは

SCSとは、脊髄刺激療法のことです。硬膜外腔にリード(刺激電極)を挿入し、電気回路と電池が内蔵された刺激装置から脊髄に微弱な電気を流すことにより、痛みを緩和させる治療法です。手術は通常2回に分けて行われ、まず試験刺激(トライアル)でリード(刺激電極)のみを留置し3日~7日程度で効果を確かめてから、刺激装置の本植え込みをおこないます。本植え込み後は患者用プログラマを使い、患者様が自分の痛みに応じて刺激を調節し、痛みをコントロールします。50%~70%痛みを軽減することが目標で、鎮痛剤の使用量減少や睡眠時間の増加等QOLの向上が期待できます。また、硬膜外腔にリードを置くため神経を傷つけず、手術前の状態に戻すことも可能です。

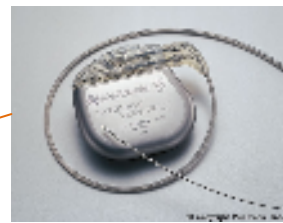


リード(刺激電極)



脊髄に電気を流すための電極が先端についている導線です。試験刺激(トライアル)では効果判定をするためリードのみが留置されます。

刺激装置



回路と電池を内蔵しており、電池が消耗すれば、刺激装置を交換します。使用頻度に左右されますが、目安は2年~5年程度です。(最近、充電式も使えるようになりました。)

患者用プログラマ



患者自身が体外から刺激装置の上に当てて、刺激調節を操作します。

適応となる痛み : 神経の支配領域に極限した痛み

脊椎・脊髄疾患による腰下肢痛

腰部脊柱管狭窄症
脊椎手術後に再燃・悪化した痛み
MOB(腰椎多数回手術)
癒着性くも膜炎

脊椎・脊髄疾患による 頸部、肩、上肢の痛み

頸部脊柱管狭窄症
頸部手術後に再燃・悪化した痛み

PVD【末梢血管障害】 による痛み

ASO(閉塞性動脈硬化症)
バージャー病
レイノー病・レイノー症候群

CRPS【複合性局所疼痛症候群】

きっかけとなる原因は不釣り合いな激しい持続痛

RSD(反射性交感神経性ジストロフィー)
カウザルギー
脳卒中後の肩手症候群

その他の神経障害性疼痛

帯状疱疹後神経痛
開胸術後疼痛
外傷・放射線治療による腕神経叢損傷
糖尿病ニューロパチー
不完全脊髄損傷
断端痛・幻肢痛
多発性硬化症

治療の流れ

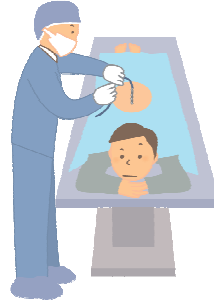
目標設定



薬などで十分な効果が得られない痛みに対し、手術内容や手術のリスクなど詳しく説明し、同意を得た上で治療に移ります。まずは、痛みをどのくらい抑えられるか目標を決めます。

局所麻酔下でリードを硬膜外に挿入し、試験刺激を行います。痛みの部位に刺激感を感じるよう患者様と話しながらいリードの位置を決定します。試験用刺激装置を使用し、試験刺激(約1週間)を行います。

トライアル(試験刺激)



効果あり

本植え込み

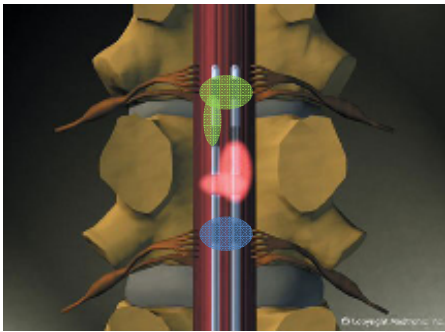


全身麻酔下で腹部等の目立たない部位に刺激装置を植込みます。

抜去

効果なし

神経を傷つけることなく元の状態に戻せます。



◆機器の目覚ましい発達により、患者様の生活スタイルに合わせた複数のプログラミングが可能です。

◆痛みを複数箇所カバーすることが可能です。

◆リードがずれても再調整で対応可能です。

適応が難しい患者様

- 問題となる心理的要因がある
- 深刻な薬物嗜癖がある
- 治療に必要な機器操作ができない
- 治療の限界やリスクなどの理解と同意が得られない

※健康保険適応になります。

～日本メドトロニック(株)ホームページ参照～

貝塚病院ホームページ www.kaizuka-hosp.or.jp/